

日興高金利通貨ファンド（毎月分配型）

ファンドの概要

設定日 2008年4月28日
償還日 2023年4月20日
決算日 原則毎月20日
収益分配 決算日毎（第2期以降）

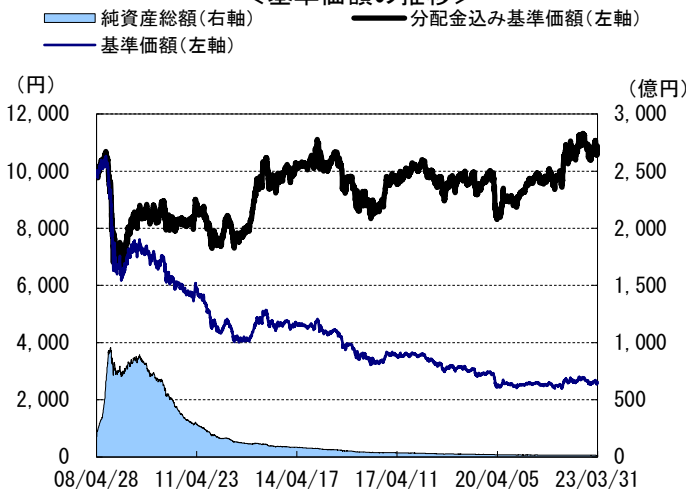
ファンドの特色

1. 新興国を含む世界の高金利通貨に投資を行ない、高水準な金利収入の獲得と中長期の資産の成長をめざします。
2. 毎月の決算時に安定した収益分配を行なうことをめざします。また、毎年4月および10月の決算時には、基準価額の水準などを勘案し、キャピタル収益（組入証券の値上がり益（為替差益を含みます））などを原資として、ボーナス分配を行なうことをめざします。
3. 新興国通貨部分はパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー（PIMCO）、先進国通貨部分は日興アセットマネジメント ヨーロッパパブリシティが運用を担当します。

運用実績

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じる場合があります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

<基準価額の推移>



基準価額 : 2,626円
純資産総額 : 14.39億円

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-0.93%	2.07%	-0.32%	3.74%	29.43%	8.77%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	2,661円
当月お支払いした分配金	-10円
為替	
ブラジルリアル	-2円
ノルウェークローネ	0円
インドルピー	-4円
フィリピンペソ	0円
コロンビアペソ	2円
トルコリラ	-7円
オーストラリアドル	-5円
ニュージーランドドル	-2円
インドネシアルピア	0円
南アフリカランド	0円
ルーマニアレイ	0円
替	
ユーロ	0円
デンマーククローネ	0円
アイスランドクローネ	0円
アメリカドル	-2円
その他	-5円
債券・その他	-1円
当月末基準価額	2,626円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

<分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近12期計	22・4・20	22・5・20	22・6・20	22・7・20	22・8・22
6,630円	120円	10円	10円	10円	10円	10円
22・9・20	22・10・20	22・11・21	22・12・20	23・1・20	23・2・20	23・3・20
10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円

<資産構成比率>

PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ（JPY）	68.8%
ハイグレードカレンシーファンド クラスA	29.1%
その他	2.1%

<ファンドの最終利回り>

最終利回り	13.83%
-------	--------

※上記の数値は月末時点で組み入れている各投資信託証券の利回りを評価額のウェイトで加重平均したものです。
 ※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
 ※将来得られる期待利回りを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

<通貨別構成比上位(ファンド全体)>

1	ハンガリーフォリント	7.5%
2	ルーマニアレイ	7.4%
3	メキシコペソ	7.2%
4	ブラジルリアル	7.1%
5	チリペソ	7.1%
6	コロンビアペソ	7.1%
7	インドルピー	6.8%
8	トルコリラ	6.6%
9	エジプトポンド	6.4%
10	ポーランドズロチ	5.9%

11	ニュージーランドドル	5.9%
12	カナダドル	5.9%
13	オーストラリアドル	5.7%
14	イギリスポンド	5.4%
15	アメリカドル	4.4%
16	ドミニカペソ	0.4%
17	南アフリカランド	0.2%
18	ロシアルーブル	0.1%
19	日本円	0.1%
20	韓国ウォン	0.1%

※比率は月末時点で組み入れている各投資信託証券の通貨別構成比をもとに計算した概算値です。

PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ(JPY)のポートフォリオの内容

※ピムコジャパンリミテッドより提供された情報です。

<通貨別構成比>

ハンガリーフォリント	10.9%
ルーマニアレイ	10.7%
メキシコペソ	10.5%
ブラジルリアル	10.3%
チリペソ	10.3%
コロンビアペソ	10.3%
インドルピー	9.9%
トルコリラ	9.6%
エジプトポンド	9.3%
ポーランドズロチ	8.6%
ドミニカペソ	0.5%
南アフリカランド	0.3%
ロシアルーブル	0.2%
韓国ウォン	0.2%
ザンビアクワチャ	0.1%
その他	-1.8%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

<格付別構成比>

短期金融商品	P-1	22.6%
	P-2	21.8%
	P-3以下	29.8%
	平均格付	P-2
債券	Aaa	2.2%
	Aa	6.7%
	A	2.3%
	Baa以下	14.7%
	平均格付	Baa1

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
※格付はMoody's、S&P、Fitchのうち、高い格付を採用しています。
※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

<残存別構成比>

30日以内	34.3%
90日以内	37.7%
180日以内	-2.6%
180日超	30.6%
平均残存日数	511日

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

最終利回り	18.58%
-------	--------

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
※将来得られる期待利回りを示すものではありません。

ハイグレードカレンシーファンド クラスAのポートフォリオの内容

※日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドより提供された情報です。

<通貨別構成比>

アメリカドル	21.1%
ニュージーランドドル	20.4%
カナダドル	20.2%
オーストラリアドル	19.4%
イギリスポンド	18.5%
日本円	0.4%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

<格付別構成比>

短期金融商品	P-1	0.0%
	P-2	0.0%
	P-3以下	0.0%
	平均格付	-
債券	Aaa	32.9%
	Aa	10.0%
	A	36.4%
	Baa以下	0.0%
	平均格付	Aa2

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
※格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。
※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

<残存別構成比>

30日以内	20.4%
90日以内	9.4%
180日以内	39.6%
180日超	10.0%
平均残存日数	90日

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

最終利回り	3.58%
-------	-------

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
※将来得られる期待利回りを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

日興高金利通貨ファンド（資産成長型）

ファンドの概要

設定日 2008年4月28日
償還日 2023年4月20日
決算日 原則4月20日
収益分配 決算日毎

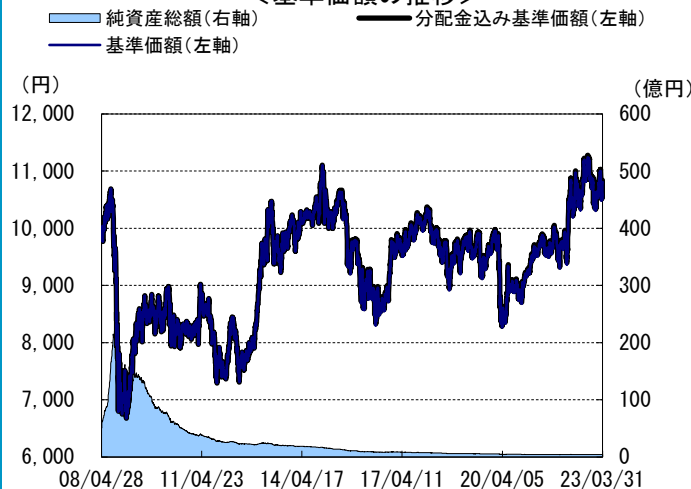
ファンドの特色

1. 新興国を含む世界の高金利通貨に投資を行ない、高水準な金利収入の獲得と中長期の資産の成長をめざします。
2. 新興国通貨部分はパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー（PIMCO）、先進国通貨部分は日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドが運用を担当します。

運用実績

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じる場合があります。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

<基準価額の推移>



基準価額 : 10,807円
純資産総額 : 4.11億円

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-0.91%	2.15%	-0.28%	3.80%	29.43%	8.39%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	10,906円
当月お支払いした分配金	0円
為替	
ブラジルレアル	-9円
ノルウェークローネ	0円
インドルピー	-15円
フィリピンペソ	0円
コロンビアペソ	8円
トルコリラ	-28円
オーストラリアドル	-18円
ニュージーランドドル	-6円
インドネシアルピア	0円
南アフリカランド	0円
ルーマニアレイ	-1円
ユーロ	0円
デンマーククローネ	0円
アイスランドクローネ	0円
アメリカドル	-9円
その他	-20円
債券・その他	0円
当月末基準価額	10,807円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

<分配金実績（税引前）>

18・4・20	19・4・22	20・4・20	21・4・20	22・4・20
0円	0円	0円	0円	0円

<資産構成比率>

PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ（JPY）	70.0%
ハイグレードカレンシーファンド クラスA	28.1%
その他	1.9%

<ファンドの最終利回り>

最終利回り	14.01%
-------	--------

※上記の数値は月末時点で組み入れている各投資信託証券の利回りを評価額のウェイトで加重平均したものです。
※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
※将来得られる期待利回りを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

<通貨別構成比上位（ファンド全体）>

1	ハンガリーフォリント	7.6%
2	ルーマニアレイ	7.5%
3	メキシコペソ	7.3%
4	ブラジルリアル	7.2%
5	チリペソ	7.2%
6	コロンビアペソ	7.2%
7	インドルピー	6.9%
8	トルコリラ	6.7%
9	エジプトポンド	6.5%
10	ポーランドズロチ	6.0%

11	ニュージーランドドル	5.7%
12	カナダドル	5.7%
13	オーストラリアドル	5.5%
14	イギリスポンド	5.2%
15	アメリカドル	4.2%
16	ドミニカペソ	0.4%
17	南アフリカランド	0.2%
18	ロシアルーブル	0.1%
19	日本円	0.1%
20	韓国ウォン	0.1%

※比率は月末時点で組み入れている各投資信託証券の通貨別構成比をもとに計算した概算値です。

PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ（JPY）のポートフォリオの内容

※ピムコジャパンリミテッドより提供された情報です。

<通貨別構成比>

ハンガリーフォリント	10.9%
ルーマニアレイ	10.7%
メキシコペソ	10.5%
ブラジルリアル	10.3%
チリペソ	10.3%
コロンビアペソ	10.3%
インドルピー	9.9%
トルコリラ	9.6%
エジプトポンド	9.3%
ポーランドズロチ	8.6%
ドミニカペソ	0.5%
南アフリカランド	0.3%
ロシアルーブル	0.2%
韓国ウォン	0.2%
ザンビアクワチャ	0.1%
その他	-1.8%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

<格付別構成比>

短期金融商品	P-1	22.6%
	P-2	21.8%
	P-3以下	29.8%
	平均格付	P-2
債券	Aaa	2.2%
	Aa	6.7%
	A	2.3%
	Baa以下	14.7%
	平均格付	Baa1

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
※格付はMoody's、S&P、Fitchのうち、高い格付を採用しています。
※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

<残存別構成比>

30日以内	34.3%
90日以内	37.7%
180日以内	-2.6%
180日超	30.6%
平均残存日数	511日

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

最終利回り	18.58%
-------	--------

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
※将来得られる期待利回りを示すものではありません。

ハイグレードカレンシーファンド クラスAのポートフォリオの内容

※日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドより提供された情報です。

<通貨別構成比>

アメリカドル	21.1%
ニュージーランドドル	20.4%
カナダドル	20.2%
オーストラリアドル	19.4%
イギリスポンド	18.5%
日本円	0.4%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

<格付別構成比>

短期金融商品	P-1	0.0%
	P-2	0.0%
	P-3以下	0.0%
	平均格付	-
債券	Aaa	32.9%
	Aa	10.0%
	A	36.4%
	Baa以下	0.0%
	平均格付	Aa2

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
※格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。
※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

<残存別構成比>

30日以内	20.4%
90日以内	9.4%
180日以内	39.6%
180日超	10.0%
平均残存日数	90日

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

最終利回り	3.58%
-------	-------

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
※将来得られる期待利回りを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

当ファンドは、新興国の高金利通貨に投資を行なう「PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ(JPY)」および先進国の高金利通貨に投資を行なう「ハイグレードカレンシーファンド クラスA」に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

今月は、「PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ(JPY)」に70%程度投資するとともに、「ハイグレードカレンシーファンド クラスA」に30%程度投資を行ないました。

今後も上記の配分を原則にして投資を行なっていきます。

PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ(JPY)のコメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

※ピムコジャパンリミテッドのコメントをもとに作成

◎市場環境

当月の新興国通貨（対米ドルベース）は、月初、米地方銀行の破綻やクレディ・スイスの経営危機を背景にリスク回避の動きから下落しました。その後月末にかけては、前述の金融不安への懸念が和らいだことやFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げサイクル終了の可能性が示唆されたことなどをを受けて上昇に転じ、月を通じては上昇しました。

通貨別には、チリペソやコロンビアペソが上昇した一方で、トルコリラやエジプトポンドが下落しました。チリペソは、コアインフレ率が依然として高水準にあることから政策金利を高位に維持するとの見方や、2022年10-12月期の実質GDP（国内総生産）成長率が4四半期ぶりにプラスに転じたことなどから上昇しました。コロンビアペソは、中央銀行がインフレ抑制のために政策金利を引き上げたことや、2023年の経済成長見通しを上方修正したことなどから、上昇しました。トルコリラは、インフレ率が低下に転じているものの依然として高水準に留まっていることや、慢性的な経常赤字が続く中で1月には統計開始以来で最大の赤字額となったことなどが嫌気され、下落しました。エジプトポンドは、食料品価格の高止まりなどを背景にインフレ率が大幅に上昇し、5年半ぶりの高水準となったことなどが嫌気され、下落しました。

◎運用概況

当月は、新興国通貨が対円で下落したことから、基準価額は下落しました。通貨別には、チリペソやコロンビアペソが上昇した一方で、トルコリラやエジプトポンドが下落しました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ハイグレードカレンシーファンド クラスAのコメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。
※日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドのコメントをもとに作成

◎市場環境

【カナダ】

カナダドルは、円に対して下落しました。カナダの建設許可金額や消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったこと、カナダの主要な輸出産品である原油の価格が下落したことなどがカナダドルの重しとなったこと、欧米の金融機関の経営破綻や経営不安を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に低リスク通貨とみられる円を買う動きが先行したことなどから、円に対して下落しました。

【ニュージーランド】

ニュージーランドドルは、円に対して下落しました。ニュージーランドのGDP成長率が市場予想を下回ったことや、ニュージーランドの経常収支の赤字幅が市場予想を上回ったことがニュージーランドドルの重しとなったこと、欧米の金融機関の経営破綻や経営不安を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に低リスク通貨とみられる円を買う動きが先行したことなどから、円に対して下落しました。

【アメリカ】

アメリカドルは、円に対して下落しました。米国のISM非製造業景況指数が市場予想を上回ったことや、米国連邦準備制度理事会（FRB）が政策金利を引き上げたことなどがアメリカドルの支援要因となったものの、米国地方銀行の経営破綻を契機に金融システムに対する不安から投資家のリスク回避姿勢が強まり、米国長期金利が低下したことなどを受けて、円に対して下落しました。

【イギリス】

イギリスポンドは、円に対して上昇しました。上旬から中旬にかけては欧米の金融機関の経営破綻や経営不安を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に低リスク通貨とみられる円を買う動きが先行したことなどから、円に対して下落しました。下旬は、イングランド銀行（BOE）が政策金利を引き上げたことや、主要中央銀行によるアメリカドル資金の供給拡充の発表等を背景に金融システム不安に対する懸念が後退し、投資家のリスク選好姿勢が回復したことなどがイギリスポンドの支援材料となり、円に対して上昇しました。

【オーストラリア】

オーストラリアドルは、円に対して下落しました。オーストラリアの主要な輸出産品である鉄鉱石の価格が上昇したことなどがオーストラリアドルの上昇要因となったものの、オーストラリアの消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことや、オーストラリア準備銀行（RBA）が今後の引き締めサイクルの停止を示唆したことなどがオーストラリアドルの重しとなったこと、欧米の金融機関の経営破綻や経営不安を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に低リスク通貨とみられる円を買う動きが先行したことなどから、円に対して下落しました。

◎運用概況

当ファンドでは、高い収益を得ることを目的としながら、格付けの高い金融商品に幅広く投資しています。当ファンドの基準価額（分配金考慮後）は、前月末比で下落しました。金融不安を背景として投資家が安全資産に避難するなか、多くの投資対象通貨が日本円に対して下落し、通貨によるマイナスの影響をもたらしました。一方で、現地通貨建て債券市場が上昇したため、保有債券のリターンにより一部相殺されました。

なお、日興高金利通貨ファンドは2023年4月20日に償還します。受益者の皆様におかれましては、永らくご愛顧いただきありがとうございます。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類 購入単位	追加型投信／海外／債券 販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額 信託期間 決算日	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 2023年4月20日まで（2008年4月28日設定） （毎月分配型）毎月20日（休業日の場合は翌営業日） （資産成長型）毎年4月20日（休業日の場合は翌営業日） （毎月分配型）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的にこなうことをめざします。ただし、基準価額水準などを勘案し、上記安定分配相当額のほか、委託会社が決定する金額を付加して分配を行なう場合があります。 （資産成長型） 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額 購入・換金申込不可日	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込み（スイッチングを含みます。）の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日・ニューヨークの銀行休業日
換金代金 課税関係	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。	
<申込時、換金時にご負担いただく費用>	
購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.3%（税抜3%）以内 ※購入時手数料（スイッチングの際の購入時手数料を含みます。）は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 《ご参考》 （金額指定で購入する場合） 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額（お支払いいただく金額）となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料（税込）をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。 ※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 （口数指定で購入する場合） 例えば、基準価額10,000円のとときに、購入時手数料率3.3%（税込）で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額＝（10,000円／1万口）×100万口＝100万円、購入時手数料＝購入金額（100万円）×3.3%（税込）＝33,000円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくこととなります。 ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>	
運用管理費用 （信託報酬）	純資産総額に対し年率1.175%（税抜1.09%）程度が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.935%（税抜0.85%）、投資対象とする外国投資信託の組入れに係る信託報酬率が年率0.24%程度となります。この他に、投資対象とする「ハイグレートカレンシーファンド クラスA」においては、固定報酬がかかります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</u> 組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。
※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。	
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	

■委託会社、その他関係法人

委託会社 日興アセットマネジメント株式会社
 投資顧問会社 ビムコジャパンリミテッド
 受託会社 野村信託銀行株式会社
 販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] www.nikkoam.com/
 [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

- ・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。

為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

デリバティブリスク

- ・金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。また、取引相手の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できず損失を被るリスク、取引を決済する場合に反対売買ができなくなるリスク、理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなるリスクなどがあります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「日興高金利通貨ファンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

■日興高金利通貨ファンド（毎月分配型）

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

■日興高金利通貨ファンド（資産成長型）

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

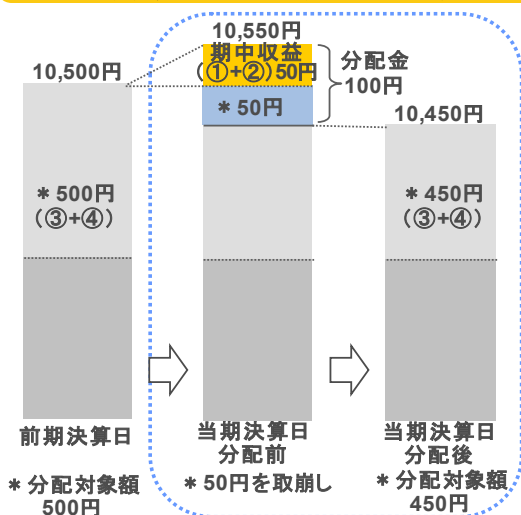
投資信託で分配金が支払われるイメージ



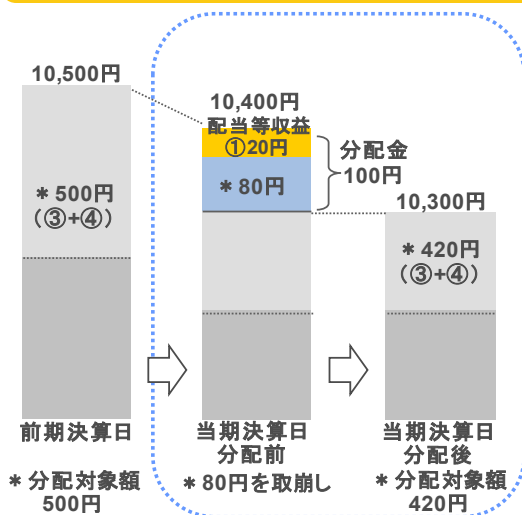
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



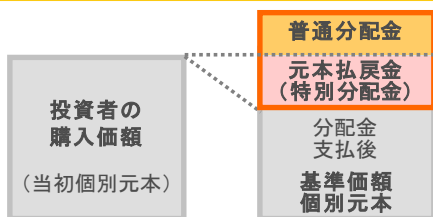
前期決算から基準価額が下落した場合



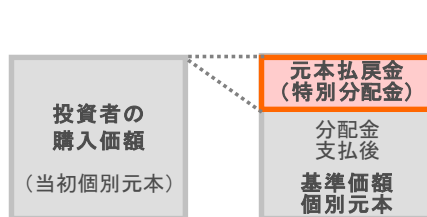
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

- 普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 元本払戻金(特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。